

- 1 高齢者の居住の安定確保に向けた基本理念
- 2 高齢者の居住の安定確保に向けた基本目標

1 高齢者の居住の安定確保に向けた基本理念

基本理念

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり

高齢化が進展する中、高齢者の身体状況や家族の状況、経済状況等は様々で、高齢者を取り巻く状況は多様化していることから、「高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり」を基本理念とし、次の基本目標を掲げ、取組みを進めます。

2 高齢者の居住の安定確保に向けた基本目標

基本目標1 高齢者の心身の状況やニーズに応じた多様な住まいの確保

要介護認定者や認知症高齢者、低所得高齢世帯など高齢者の心身状況や生活状況、生活支援サービス等のニーズに合わせて、安心して住み続けることができる住宅の確保が必要です。

高齢者が安心して居住できる生活支援サービスが付いた高齢者向け住宅や高齢者向け施設の供給促進、高齢者が居住する住宅のバリアフリー化等を進めることにより、「高齢者の心身の状況やニーズに応じた多様な住まいの確保」を目指します。

基本目標2 高齢者の住まいへの入居支援の充実

高齢者が自身のニーズにあった住まいに円滑に入居するためには、高齢者に対して住まいに関する情報を的確に提供するとともに、入居を円滑に進めるための支援が必要です。

多様化する高齢者の心身の状況や住まいへのニーズに沿った情報提供を行うとともに、福岡市市居支援協議会等で実施する入居支援策を進めることにより、「高齢者の住まいへの入居支援の充実」を目指します。

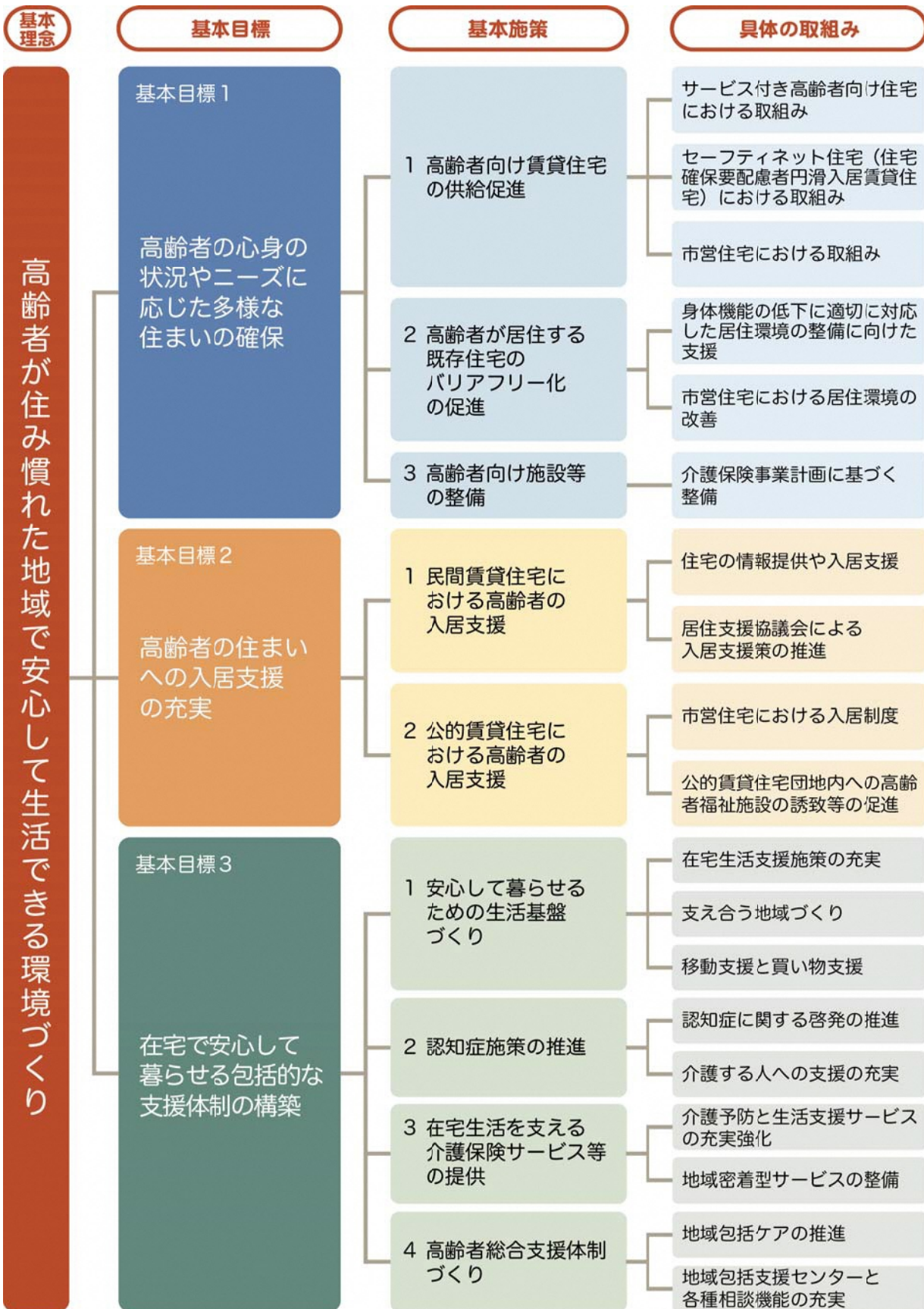
基本目標3 在宅で安心して暮らせる包括的な支援体制の構築

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けるには、住まいの確保や入居支援に加え、日常生活に不可欠な移動手段の確保やいざというときに助け合えるコミュニティがあることが必要です。

医療、福祉、地域やボランティア団体など高齢者を取り巻く様々な主体が連携し、高齢者のニーズや状態の変化に応じた在宅サービスや生活支援の提供、身近な相談窓口の充実等を図ることにより、「在宅で安心して暮らせる包括的な支援体制の構築」を目指します。



■ 施策体系 一覧図



はじめに

第 1 章

現状と課題

第 2 章

基本理念と基本目標

第 3 章

高齢者の居住の安定確保に向けた具体的な取組み

第 4 章

計画の目標値等

第 5 章

計画の推進と評価